

Born Explorers

～幸せな子ども時代～

SOLANの未来について考えました

「理事長と、未来のSOLANについて語ろう」の会を実施しました。

まず、「日本の未来は明るいのか」をみんなで考えました。1989年の世界時価総額ランキングでは、1位のNTTをはじめ、多くの日本企業が上位にランクインしていました。その30年後、上位20位から日本の企業が全て消えてしまった表を見て、子どもたちからは、「うわー、日本貧乏ー」という声が上がりました。



2つ目は、左の画像です。日本製品の世界シェア推移の表を見て、日本製品のシェアが下がったということを知りました。これらの数字の変化に、子どもたちは衝撃を受けていました。

3つ目に、日本の総人口の長期的推移のグラフを見て、今後の日本は、高齢化社会になるということを知りました。

これらの事実から、日本は、このまま放っておいたら「貧しくて老人だらけの小さな国」になるのではないかという考察がされました。



次に、未来と過去は何が違うのかというテーマについて、グループで話しました。子どもたちからは、「過去は変えられないけど、未来は変えられる」という声が上がりました。

それでは、日本の若者は、未来を変えられると思っているのか。各国の18歳に聞いた、「自分を大人だと思う」「自分は責任がある社会の一員だと思う」「将来の夢を持っている」「自分で国や社会を変えられると思う」という質問について、日本の若者が「はい」と答えた割合は低いです。特に、「自分で国や社会を変えられると思う」と答えた18歳は、18.3%と、対象の9カ国の中で、低い数字でした。

<https://www.nippon-foundation.or.jp/who/news/pr/2019/20191130-38555.html>

日本財団「18歳意識調査」



この表をみんなで見た後、理事長からは、「この数字は、大人が子どもに、これからの未来は明るい、と伝えられなかったことが原因だと感じ、反省している」「だから SOLAN小学校を作った」というお話がありました。

SOLAN小学校は、探究・ICT・英語に力を入れています。次に、そもそもなぜ、これらを学んでいるのかについて、グループで話し合いました。英語について子どもたちからは、「英語話せないと、仕事なくなるかもしれないから」「海外の人と交渉するために、英語は必要」という声があがりました。

SOLANの愛唱歌に、『たくさんのものを手に入れるためにここに来た』という歌詞があります。「なぜSOLANに来たのか」ということは、今後、考えていくことになりました。「お家の人としっかり話し合う」と言っ

ていた子もいたため、もしお時間がありましたら、子どもと話しをしていただけたらと思います。